

歩いた、見た、感じた

ヨーロッパ(ハンガリー)

9期 森 正昭

# なぜハンガリーか

- 1997年、1998年は単独で、2008年は4人で、と3回歩いた。
- なぜ、ハンガリーを3回も歩いたか？「ハンガリー大平原を見たかったから」
- 歩く旅は、人との出会いの機会。

現地の言葉を多少なりとも話したいと思い、ハンガリー語は数ヶ月学習。やっと、サバイバル単語を覚えた。

## 歩いたこと

- 日中の日差しは耐えがたかったが、空気が乾燥していて日陰は涼しい。
- 足に肉刺が、一人旅の心細さ。多くの仲間がいるというのが支えに。

# 見たこと 人との出会いや体験



- 第1回目；爺さんが「家によって冷たいものでも飲んでいきなさい」と声をかけてくれた。マジャローサーグ／ハンガリー語だったが、理解できた。
- 第2回目；プチペンションで、マダムが宿代をタダにしてくれた。
- 第2回目；皆既日食を体験
- 第3回目；地平線まで広がる緑の麦畑

# 感じたこと

- 人々の暖かさ、ハンガリー独特の国民性かもしれない
- 10年経って再び行ったが、EU加盟で人々は豊かになった。